

令和4年度の重点課題

- 男子
 - ・ 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が8.4%である。
 - ・ 低学年に比べ、中・高学年がややきらい、きらいと答える児童が多い傾向にある。
- 女子
 - ・ 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が13.8%である。
 - ・ ややきらい、きらいと答える女子の割合が男子よりも5.4%多い。
- 第5学年男子
 - ・ 「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「体力合計点」が、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 第5学年女子
 - ・ 「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」「全体合計」が、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体
 - ・ 新体力テストの総合評価のAB率27.6%、DE率34.5%である。((AB-DE)率 -6.9%)

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 準備時間や後片付けの時間を短縮し、児童の運動量を増やすことができるように、学年で連続して体育の授業を行った。
- 外遊びの楽しさを感得できるように、週に一回のロング昼休憩や月に一回の「全員外で遊ぼうDAY」を行った。
- 運動に興味をもつ児童を増やすことができるように、体育委員会と連携して外遊びの仕方を紹介したりロング昼休憩等で一緒に遊んだりした。
- 年間通じて休憩時間や長期休業中に縄跳びに取り組むことができるように、前期に縄跳びカードを配付した。
- 運動の楽しさを感得させたり、いろいろな運動にふれさせることができるように、体育振興部会の方々、施設と連携して「中黒瀬小学校スポーツフェスティバル」という学校行事を行い、大学生のダンスチームやチアリーディング、陸上競技の講師を招いた。

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.18	17.05	29.21	39.68	43.41	10.08	149.19	18.56	47.97	第5学年	14.49	17.96	34.69	37.80	36.45	10.05	146.63	13.21	52.86

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.18	17.05	29.21	39.68	43.41	10.08	149.19	18.56	47.97	第5学年	14.49	17.96	34.69	37.80	36.45	10.05	146.63	13.21	52.86

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	72.5	22.5	2.5	2.5	第5学年	47.92	39.58	10.42	2.08

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	ややきらい	きらい	女子	好き	やや好き	ややきらい	きらい
第1学年	76.4	14.7	5.8	2.9	第1学年	73.5	26.4	0	0
第2学年	82.9	7.3	4.8	4.8	第2学年	77.2	13.6	9	0
第3学年	83	13.2	1.8	1.8	第3学年	64.7	23.5	5.8	5.8
第4学年	66.6	28.8	2.2	2.2	第4学年	63.8	19.4	11.1	5.5
第5学年	72.5	22.5	2.5	2.5	第5学年	47.9	39.6	10.4	2.1
第6学年	61	25.4	11.8	1.0	第6学年	34.8	34.8	6.9	23.2

重点課題

情意面での課題

- 全体
 - ・ 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合は14.3%である。
 - ・ ややきらい、きらいと答える女子の割合が男子よりも5.2%多い。

体力面での課題

- 第5学年
 - ・ すべての項目が、県平均値かつ全国平均値より低い。特に、「長座体前屈」「50m走」は男女共に全国平均値を大きく下回っている。
- 全体
 - ・ 新体力テストの総合評価のAB率28.2%、DE率36.8%である。((AB-DE)率-8.6%)
 - ・ 令和4年度と令和5年度の体力合計点は、どちらも101点だった。

令和6年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合を、男子、女子共に8%以下にする。
- 新体力テストの総合評価において、AB率がDE率を上回るようにする。
- 「長座体前屈」「50m走」の各学年の記録を令和5年度よりも上回るようにする。
- 体力合計点を令和5年度よりも各学年2点ずつ上回るようにする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・ 低学年では鬼遊び、中学年ではゲーム、高学年では陸上運動の授業の充実を図り、走力を高める。また、日々の授業の中で、ストレッチなどの柔軟運動を取り入れる。
- ・ 児童が自身の運動技能の伸びを実感したり、友達との動きからよりよい動きを獲得したりすることができるように、積極的にタブレット端末を授業で活用する。
- ・ カリキュラムマネジメントを行い、効率的効果的に基礎体力づくりのできる授業計画を立て実施する。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・ 放課後でも運動に慣れ親しむことができるように、家庭でもできるような運動をタブレット端末の機能を通して紹介する。
- ・ 外遊びの楽しさを感得できるように、月に1回「全員外で遊ぼうDAY」を行い、体調不良等でない職員、児童が外遊びを行う時間を設定する。
- ・ 体育委員会を中心に遊び方を紹介したり、遊び場の工夫を行ったりすることで、運動に慣れ親しませ体力の向上を図る。
- ・ 持久力を高めることができるように、後期に持久走チャレンジカードを配付し、走った距離数に応じてシール等を渡す。
- ・ 児童の実態や意識を把握し、指導に生かすことができるように、全児童を対象とした意識調査を実施する。